

令和6年度

練馬区立光が丘第三中学校

光が丘三中だより 第8号

「知の輝き」「心の輝き」「身体の輝き」

URL <https://www.nerima-ky.ed.jp/hikarigaoka3-j/> 令和6年12月2日



生きているということ

副校長 河合 仁

日本を代表する詩人の谷川俊太郎さんが、11月13日にお亡くなりになりました。

谷川さんから私が真っ先に思い浮かぶのは、「生きる」という詩です。この詩との出会いは高校生の時でした、以来、今でも時々、この詩を音読することがあります。

生きる 谷川俊太郎

生きているということ	いま生きているということ
それはのどがかわくということ	木もれ陽がまぶしいということ
ふっと或るメロディを思い出すということ	くしゃみすること
あなたと手をつなぐこと	
生きているということ	いま生きているということ
それはミニスカート	それはプラネタリウム
それはヨハン・シュトラウス	それはピカソ
それはアルプス	
すべての美しいものに会おうということ・・・	

「自選 谷川俊太郎詩集」(岩波文庫)より一部抜粋

谷川さんの詩は、どの作品もリズム感のある独特の短い言葉で語り掛けてくるので、スーッと心の中にしみこんでいきます。しかし、初めてこの詩に触れた時、未熟な私は「生きていることが、何故ピカソ？」と、感動というよりはむしろ「不思議な詩だ。」と感じました。

この詩に込められた深い意味が少しわかってきたのは、大学に入ってから和辻哲郎の弟子であるI先生の講義を聞いてからです。

ある時、先生は講義中に「僕は君たちと同じくらいの時に、本来死んでいたはずだった。」とおっしゃったのです。不運にも先生の学生時代は太平洋戦争中で、戦争後半には大学生でも戦争に駆り出される程日本は不利となり、昭和20年8月には戦車隊に配属されたそうです。

新潟から上陸する敵を迎え撃つ命令を待っている中、先生は薄い鉄板のちっぽけな戦車を見て「これは助からない。」と確信し、「自分が死んでも納得できる理由」を探し続けたそうです。「自分がこの世から明日おさらばすると考えた時、不思議なことに普段何気なく感じていたこと、例えば鳥のさえずりや道端の花にも感動して涙が流れてきた。」と話されたことを今でも覚えています。

日々時間に追われて過ごしていると実感するのはなかなか難しいですが、我々は、誰も有限の時の中を生きています。「家族との時間」、「友人との語らい」等、1日の何気ない出来事、その一つ、一つが実は大切な瞬間なのです。

また、すべての人が有限の時の中を生きていると考え、誰もが幸せになる権利(人権)を持っていることにも気づけると思います。どうか周囲の人を思いやる気持ちを持ち日々の生活を送ってください。

《 生徒の活躍から 》(敬称略)

【ソフトテニス部】

第 68 回東京都中学校ソフトテニス新人大会(団体戦) ベスト 16

練馬区学年別ソフトテニス大会(2 年女子)

優勝	2 年 C 組	2 年 C 組	ペア
3 位	2 年 B 組	2 年 B 組	ペア
5 位	2 年 C 組	2 年 D 組	ペア

【陸上競技部】 東京都中学校体育連盟陸上競技部 強化特別選手(短距離)に選考されました。

2 年 D 組

〈税の標語〉

練馬区長賞 2 年 B 組 「税金を 納める義務や 知る責任」

〈令和 7 年度 「健やか運動」推進カレンダー〉

- 入選 1 年 A 組
- 入選 1 年 D 組
- 入選 2 年 B 組
- 入選 2 年 D 組

各作品は、12 月 25 日から 1 月 9 日まで練馬区役所 1 階アトリウムで開催される「健やかカレンダー原画展」にて展示されるそうです。

令和 6 年 12 月 令和 7 年 1 月の主な予定【予定】に関しては、変更となる場合があります。

令和 6 年 12 月の予定			令和 7 年 1 月の予定		
日	曜日	主な予定	日	曜日	主な予定
2	月	教育相談 進路面談始	8	水	始業式 休み明けテスト
6	金	教育相談 進路面談終	11	土	学校公開日
9	月	全校朝礼 3 年生卒業アルバム写真撮影	16	木	専門委員会
12	火	子どもを笑顔にするプロジェクト 3 年生卒業アルバム写真撮影	17	金	連合ダンス発表会
			20	月	全校朝礼
13	金	専門委員会 3 年生卒業アルバム写真撮影	21	火	F 組 スキー移動教室始
			23	木	F 組 スキー移動教室終
15	日	スピーキングテスト予備日	24	金	英検
16	月	学年朝礼	27	月	学年朝礼
17	火	1 年 F 組 校外学習	30	木	1 年生 校外学習
19	木	情報モラル教室	12 月の生活目標 1 年間の振り返りをしよう		
24	火	美化日			
25	水	終業式			
26	木	冬季休業日始			